

～礼儀と節度を考える～



平成武師道

〈人間活動学〉



義をもって我々は人生を歩んでいる。個人から国家、地球規模まで様々な形として義は示していかなければならない。現在の武師道の義と言え、この国の30代から50代ぐらいまでの大人が己の心に負けない器を持ち、またお互いが強い気持ちで繋がり合い、あらゆる困難を乗り越えていけるような国造りをしていかなければならないという事だろう。果たしてどこまでの事ができるかは分からないが、一番大切なのは信念を貫き通す勇気を我々が持つ事である。義と勇は常に共にあると言われているように、武師道の義を貫き通す為にも勇気を持って人生を闘い続ける覚悟が必要だ。人の事をとやかく言う前にまず己が行動に出よう。テレビを付けたら胡散臭い評論家やタレント達が愚痴を言っただけは他人事のように批判ばかり。まずはお前がやってみろと言いたくなる。まさしくホームページで公開している武師道放送局で3月7日に収録したテーマ「言うは易し、行は難し」のとおりだ。口先だけで言うのは簡単だが、実際やるとしたら大変な事が多い。私自身もそうだ。このように言われたりしたら気付くものだが、なにげに口先だけで話してしまっている事に反省する時もある。誠の道。すなわち、言った事を成すから誠。考える事も大事。人に話す事も大事。そして、それを実行に移す事が一番大事。そのために勇気を持って、はじめの一步を踏み出すのだ。今、この国と我々が一番必要な事はこの勇気と強い気持ちを継続していくための元気の心である。

平成武師道の同志の皆さん、

闘志天翔の気持ちで常に熱く燃えて生きていこうではないか。